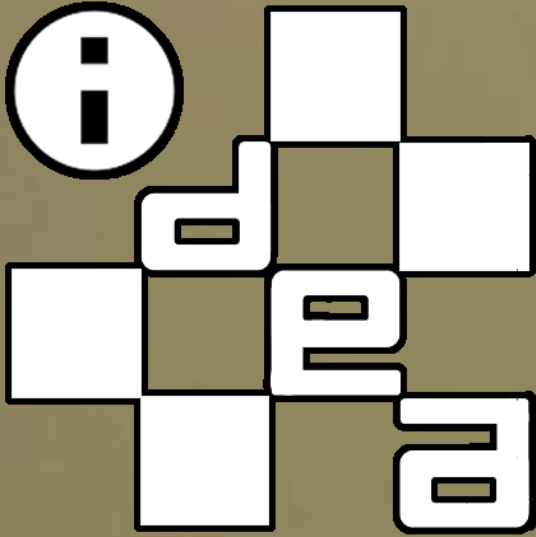


つながりがみつける! つながりがはじまる!



ニュースレターアイデア
平成 23 年 12 月 25 日第 7 号

■ ■ ■
■ ■ ■ いちのせき市民活動センター
■ ■ ■

12

社会教育指導員研修会

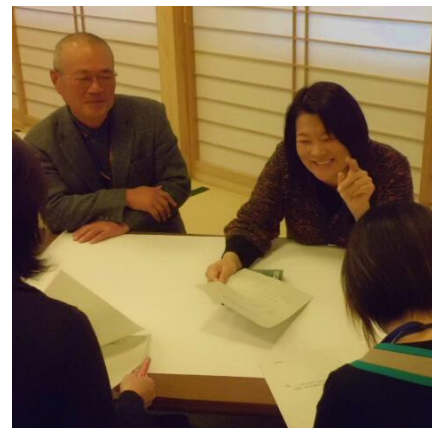
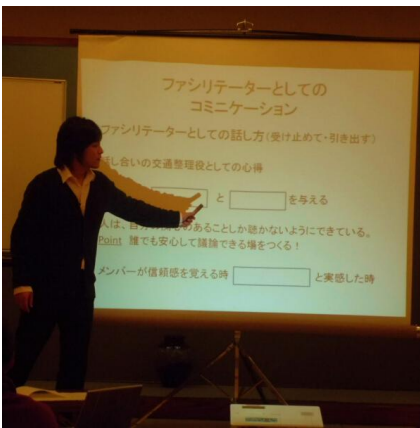
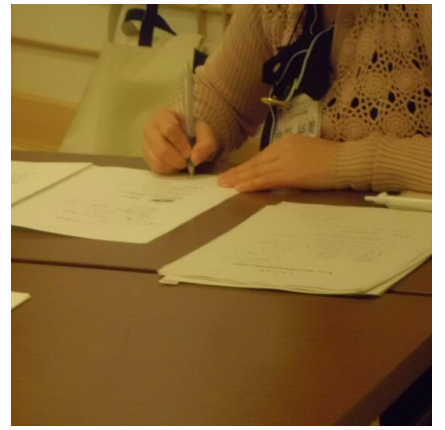
～観智と創造 参加体験型ワークショップに学ぶ～

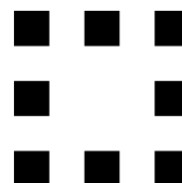
平成23年12月7日、東山公民館にて、社会教育指導員の方を対象に、「ファシリテーションの基礎を学ぶ社会教育指導員研修会を開催しました。

研修には15名が参加し、「井戸端会議」から「総会」までのあらゆる会議の種類をふりかえり、どんな会議にしていけばいいのか、脱線しがちな会議から、いかに全員が納得できる会議にするのか、という会議の目的を確認。

具体的な手法として「会議設計」「ファシリテーターとしてのコミュニケーション」「話し合いを目標でわかるようにする」の3点に視点を当てた研修を実施。

「楽しく参加しましょう」「失敗はありません」「納得して帰りましょう」というルールを確認し、「参加・体験型」のワークショップでワークショップの手法を学び、納得して生かせるような研修を行う事ができました。





2 センターのやってること

4 みちのくワークショップフォーラム

絆をきずくワークショップ

5 地域づくり支援講座

ファシリテーショングラフィック

6 一関子ども劇場

げんきのWA！

7 第17回全日本フットサル選手権

イベント・ボランティア情報

8 地域のあれこれ勝手に紹介！

ロゴマーク

一関、川崎、千厩、大東、花泉、東山、藤沢、室根、8つの地域があつまったひとつの広場（スクエア）をあらわしています。

地域住民は何を必要としているのか、何をしたいのか、地域の課題は何か。自分たちができることは何かを一緒に考えます。

営業案内

開館日

月曜～土曜 9時～18時

休館日

日曜・祝日 年末年始

今月の表紙



いちのせき

市民活動センター

〒021-0881

岩手県一関市大町 4-29

Tel&Fax:0191-26-6400

千厩サテライト

〒029-0803

岩手県一関市千厩町

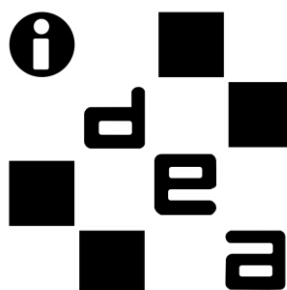
千厩字町 149

Tel:0191-48-3735

Fax:0191-48-3736

いちのせき市民活動センター情報誌アイデア

いちのせき市民活動センターニュースレターideaは、市民活動がアイデアを持って NPO・行政・企業・市民との出会いの機会を創る情報誌です。センター情報をはじめ管内の市民活動団体情報や行政情報をお届けします。



絆をきずくワークショップ

レギュラー講座 5

「参加者間の絆の形成」

～コミュニティー・ビルディングの基盤づくり～
平成 23 年 11 月 12 日(土)

ペアレント・プロジェクト・ジャパン
玉山 幸芳さん



みちのく ワークショップ フォーラム

8か月をふりかえって

3月11日、あの時、どこで何をしていたらう……。東日本大震災から、今現在をみつめ、「絆」はどのように作られていったのか……。円形にならべた椅子に座り、赤い糸を話し手に渡していくと、やがて赤い糸で結ばれた「ネットワーク」が出来上がります。

講師の玉山さんは「ネットワークは穴だらけ。これからはパッチワークの時代」と指摘し、ハサミで持っている糸をそれぞれが切り離すと、「絆」という字は糸が半分と書きます。持ってくれる人がいて初めて絆になるのです。」と、絆とは何か、について改めて考えさせる言葉を伝えます。「絆」という言葉の本質をとらえた玉山さんの言葉に、会場からは「なるほど」といううなずきの言葉が返ってきました。自分一人では作れない「絆」は、相手がいてはじめて成立するものなのだという「気づき」や「学び」もありました。

事例発表と質疑応答から

「溶けてきたものの、にじみ出てきたもの、想いの部分、それは場の設定をして、ワークショップという非日常の中でしか出てきません」と語る玉山さんは「奥州♥絆の会」を3月25日に発足。「ファシリテーターは参加者を超える事ができない」という考えに基づき、中間支援組織として「支援（シエン）から縁（エン）へ」という自立へ向けた支援を行います。「入浴支援」「スーパースポーツデイ」などの災害支援の事例について、「自己満足はいけない。でも、自己満足も大事」と語ります。

質疑応答を経て、グループごとに行った「これからどんなことをしたいこうか？」というワークでは、出された意見を模造紙を使用してまとめ、発表しました。「ゆるやかなつながり」「縁」などの関わり方を踏まえ、参加者が「自分には何ができるのか」を考えると、絆が生み出す新たな可能性や力に気づきます。

絆をきずくワークショップ

「ワークショップにプロはいません。生活に結び付いたものだからです」と玉山さんは言います。「私たちは大きなことは何もできません。ただ、大きな愛を持って小さな事をするだけです」というマザーテレサの言葉を引用し、地道な話し合いの大切さを再確認しました。



絆を象徴する「赤い糸」を持ち、東日本大震災から今日までの自身の体験を語ります。



「これから、どんなことをしていこうか」の考えを具体的に形にして発表しました。

会議が変わる進め方！

第3回

「ファシリテーショングラフィック」

～見える化し、引き出す描き方～

いちのせき市民活動センター

小野寺 浩樹



地域づくり 支援講座

プロセス共有と参加促進

「場のデザイン」「コミュニケーション」に引き続き行った今回の「グラフィック」の講座。プロッキーやふせんを使った方法は、なんだか楽しそうです。

3回目に初めて参加した人のためにまずは「前回の振り返り」から。議論は目に見えないので、「見える化する」「引き出す」という2つの効果と、6つの意識、4つのポイントを学びます。専門用語を知らなくても、ファシリテーターとして話し合いを進めることができることから、まずやってみることに始めました。



「議論を描く」ための要点を学びグループごとに演習を行います。

学生時代をふりかえり…

「学生時代になにをしておくべきか」まずはやってみよう！と行ったワークのテーマは昔を振り返ることから。1人ファシリテーターを決定し、15分間の話し合いで出された意見を「プロッキー」を使用して描いていきます。

「大東亜戦争が…」と年代や性別によって新鮮な話も聴くことができ、グループで出された様々な意見は見える化されることで「議論の材料」として有益なものとなります。話を広げる「質問」やうなずきなどの「傾聴」も重要になります。



「見える化」と「参加の促進」がファシリテーターの役割です。

千紙といえは…？

最後に「千紙といえは」に視点を当て、意見をふせんに記入して発表、同じような意見ごとにグループ分けをするワークを行いました。出された意見はグループごとに集約し「〇〇と〇〇の千紙」というキャッチフレーズで発表。

最後に模造紙をふりかえり「ここをこんなふうにしたらもっとよくなる」という点を確認。無理やりグループをつくらず、意見を広げていく事が大切で、意見が少ないグループは意見を促すなど、ファシリテーターの具体的な手法を学びました。



会議の進め方の知識を得るだけでなく、実際に会議が行われる場を体験します。

子育て親育ちをめざして…

一関子ども劇場

3月に楽しいイベントを企画している子ども劇場。

2011年8月19日に開催されたイベントのレポートをお届けします。



一関子ども劇場さんのイベント
親子で楽しむ夏祭り『げんきのW
A!』にお邪魔してきました!

会場は一関二高前、バルーン・キ
ッズ駐車場。

親子で楽しめるイベントを…
と今回のおまつりを企画されたそ
うで、ふるしき市・ダンボール遊
び・手作りおもちゃコーナー・縁
日コーナー・顔面紙芝居&ビンゴ
大会などイベント内容は様々。

子どもたちに大人気だったの
が、ピカさんの顔面紙芝居公演。

自分の顔を登場人物の1人にして
しまう顔面紙芝居!

七変化するピカさんの迫力ある
演技とリズムカル音楽な音楽に、
子どもも大人も夢中になっていま
した。こちらは手作りおもちゃコ
ーナーです。子ども劇場会員の子
どもたちが作ったおもちゃで、げ
んきのWA!のチラシに付いてい
る引換券と交換。

掘り出し物がいっぱいのおふろし
き市では、運営委員長小岩さん作
の焼き物も販売。なんと、どれで
も100円!売上は子ども劇場さんの
活動資金になるそうです。

一関子ども劇場さんは、このよ
うなイベントを開催しプロの生の
舞台を間近で楽しむことや、アウ
トドアクッキングや流しそうめん
会など普段なかなかできない行事
を通して、子育て親育ちをする会
です。



**興味を持たれた方は
子ども劇場さんまで
お問い合わせください**

【一関子ども劇場 事務局】
一関市赤荻字下谷 149-1
バルーンキッズ内 (一関二高前)
TEL & FAX : 0191-25-6160



PUMACUP2011

第17回全日本フットサル選手権

ヴィヴァーレの出場した全日本フットサル選手権岩手県大会は11月27日に花巻市体育館で開催されました。

第1試合は対S.F.C. Vientoとの対戦。前半はお互いにチャンスは訪れるものの好プレーが続き得点無の0・0で前半終了。

試合が動いたのは後半中盤に周囲からのパス回しで相手の動きを乱し、ゴール前に入ったパスを見事に決めビバーレが先制点。終了のブザーまで必死に守り抜いたビバーレが試合を制しました。

2試合目は遠野クラブと対戦。お互いに高い技術でボールコントロールし、両チームともにシニ



この直後に得点を決めた。

トを打つも決定打にならずに前半を終了。

後半に入りビバーレが先制点を決め、このまま逃げ切るかと思われた終了場際に同点ゴールを決められそのまま試合終了となりました。

負けはしませんでした。対戦成績で遠野クラブが得失点差でビバーレを上回りビバーレの全日本フットサル選手権岩手県大会は終わりました。

来年こそ岩手の代表で活躍してほしいです。

イベント・ボランティア情報

center-i.jimdo.com

パカポクラブでは、しょうがいを持った子どもたちが馬とふれあうことのできる乗馬会を開催しています。乗馬会を手伝ってくれるボランティアの方も募集しています。参加を希望する方は申し込みが必要で当日1000円をお持ちください。

1月22日(日) 10:00~12:00
佐々木牧場(金沢字有壁沢13-1)
☎0191-82-5584

絵手紙同好会では、水彩絵の具を使用して一緒にお茶を飲み、語り合う絵手紙仲間を募集しています。内陸に避難している方など、どなたでもお越しください。参加料は1年間1000円で、画材道具は各自、お子さんの使用していた道具でもよいです。

平日の9時30分~12時
勤労福祉センター
☎0191-52-2722(代表・氏家)

リトルハンズでは、子ども達の遊び相手、簡単な学習のサポートができるボランティアの方を募集しています。昼食と運動でできる服装が必要です。ボランティアご希望の方はボランティア保険に加入して下さい。社会福祉協議会で加入できます。

毎週土曜日または学校の長期休業中の10時~16時
リトルハンズ
☎0191-26-6400

NPO法人一関文化会議所では、お子さんを対象に、小野寺塾指導ネットワークにて、そろばん学習の基本を学べる、体験学習会を開催します。一関市宮下町にある認定教場で行います。参加希望者は電話で申し込みをしてください。

土日祝日を除く平日16:00~17:00
認定教場
☎0191-82-5584

一関子ども劇場では、人形劇団ククスによる第79回人形劇を開催します。演目は山寺の「ずいとんさん」という小坊主ときつねとのやりとりが楽しい「ずいとんさんときつね」、「たまちゃんのおとうさん」です。

3月11日(日) 15:30~
中里公民館
☎0191-25-6160

一関社会福祉協議会、一関公民館、いちのせき市民活動センターでは、地域での暮らしを考える講座を開催します。世界遺産「平泉」をテーマに、中尊寺仏教文化研究所の佐々木邦世さんを講師に招いての講演です。

2月25日(土) 10:00~
一関市総合福祉センター3階
☎0191-21-2148

